

宇都宮事件とはなんなんだ？！

私たち(障害者福祉)に何が問われているのか

2005年8月7日(日) 午後1時(開場)～午後4時30分

宇都宮市／平石地区市民センター(宇都宮市下平出町158番1・TEL 028-662-6206)

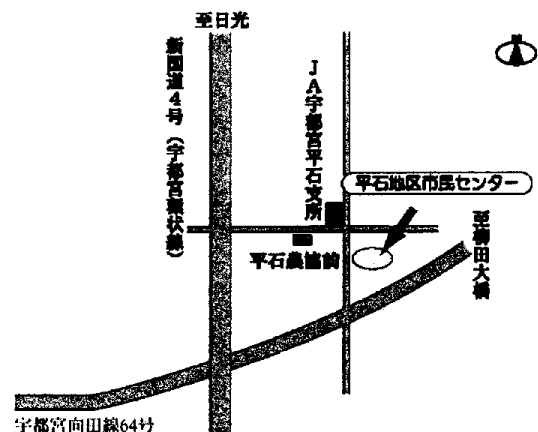
参加費 1000円 / 当日は資料集を配布します。その関係で事前申込みをお願いします。

集会の内容(予定)

- ・ Kさんのような「手のかかる難しい知的発達障害者」とされる人たちへの地域支援の現場から／知的・発達障害者福祉支援者－
- ・ Kさんのようなコミュニケーション障害をもつ人たちに対してつくられる虚偽自白と冤罪の司法(警察・検察)の現場から／弁護団－
- ・ Kさんと同じような境遇にある、いわゆるホームレスとなる知的発達障害をもつ人たちを支える現場から／ボランティア、ホームレス支援者－

<会場案内>

- ・ JR 宇都宮駅東口から関東バス「中平出経由柳田車庫行き」乗車、平石農協で下車。徒歩2分。
- ・ JR 宇都宮駅東口から宇都宮向田線 64号を東進し、新国道4号下の交差点の次の信号を左折し、30m先の右。



宇都宮事件とは？ / 新聞・マスコミでは、知的障害者の「誤認逮捕・起訴事件」と呼ばれていますが、私たち(実行委員会)の中では、<そんな呼び方ではこの事件の内容をあらわしていない、むしろ歪めて誤解を与える>という意見が大半を占めています。狂悪な連続強盗犯人とされたKさん(53才・男性)は、最近、宇都宮家裁の成年後見人選任のための精神鑑定で、IQは25以下(検査不能)の重度の知的障害者とされた人です。

どうしてそんなKさんが連続強盗犯に？ / 弁護団の調査によれば、Kさんのこれまでの成育歴を知って本当にかく然とします。親や保護者のいない「手のかかる難しい障害者」とされると、

福祉から拒まれて精神病院に入れられ、退院して地域にもどっても「ヤクザ風の男」(精神鑑定書の表現)の「養子」にさせられ(それもKさんひとりではなく6名の障害者)、障害者年金や生活保護費をその「養父」が自由に管理していました。それは「食いもの」(搾取)ではないのだろうか。そして、そのことを福祉(そして警察も)は知っていました。いわば福祉が「ヤクザ」に肩代わりさせていた、といえないのか。 どうしてなんだ?! どうしてこの事件がうまれたのか。

集会への呼びかけ

金子晋也(ひばり副施設長)

平成17年7月13日

この事件の「犯人」とされたKさん(53歳、男性)との最初のきっかけは、5月6日のどしゃ降り之夜であり、シャワーを浴び終えたとき、宿直の職員から、「先日ショートの見学に来られた方が、石橋署に保護されているから、迎えに来て欲しい」との連絡が入っているがどうしたらよいか?とのことなので、詳しい内容が分からぬまま、石橋署に駆けつけると、10日前に見学に来られたKさんが、びっしょりの服を着たまま、ニコニコと私に近寄り、「迎えに来てくれたんか?」というのです。詳しく聞くと、自宅から真岡に行く途中で、夕立に遭い、道に迷って警察に保護され、本人の財布の中に入っていた、私(金子)の名刺を見て、連絡を入れたとのことでした。

それからはKさんとは、施設職員と利用者でありながら、歳は親子であってもおかしくは無いくらい離れているにもかかわらず、兄弟のような関係になり、朝は5・6時から「今っから、そっち(ひばり)行っから」と毎日のように、連絡をくれたり、「昼飯、一緒に食うべえ?」と誘うと、どこからともなく自転車にサングラスの格好で現れるのが、日課となっています。

そんなKさん、現状では、入所施設で提供できるショートステイで柔軟に対応していますが、支援体制など、さまざまな問題が山積みで、今後どういった対応をするのが、Kさんにとってベストなのか、日々苦慮しているところであります。施設が、措置から契約に移行し、支援費制度から自立支援法と制度はかわり、より開かれた福祉になっているのは、紛れも無い事実であります。より多くの情報を知り得た方が、より質の高いサービスを受ける、施設は熱心な保護者に耳を傾けて、サービスの質の向上に努めるといった傾向にあります。そのようなことは、老人福祉のように、民間の事業所でもできることであり、社会福祉法人でなければできないことは、Kさんのような方をいかに生まれ育った町、地域で、支援し、その中心的担い手になるのが、私たち社会福祉法人を運営する者の使命ではないのかと、Kさんから教えてもらったような気がします。

8月7日の集会には、Kさんとのエピソードを交えながら、みなさんの住む町にも必ずいらっしゃる、契約になじめない、福祉のサービスを受けていない方々のため、また、第2のKさんを作らないためにも、みなさんと一緒に話し合ってみませんか?

弁護団と支援者は、何故に、この宇都宮事件を

弁護団は東京の4人の弁護士で、その母体は弁護士副島の主宰している知的発達障害者刑事弁護センター(人権センター基金、定期的にニュースレターを発行)のメンバーたちです。そのセンターの会員(中心は全国の知的発達障害関係者)からの支援を資金として、さまざまな支援と弁護活動、そしてこれから何年とつづく法廷・訴訟活動をやっていこうと考えています。その活動資

金にはおそらく何百万円もかかります。そんな多額の資金を持ち出しても、弁護団としてはこの宇都宮事件は知的発達障害者の権利擁護にとって、とても“やりがい”のある事件だと考えています。それは、現在、本人Kさんの地域支援に入っている知的障害福祉関係者(関口さん、金子さん、石川さんら)にとっても、経営的(支援費的)には全くの持ち出しで利益にはなりません、同じく“やりがい”のある仕事だということですし、そして8/7集会に結集し、今後、「宇都宮事件ネットワーク」をつくろうと参加してくださる人たち(実行委員)も、やはりこの事件の重みと課題(価値)に惹かれて、それぞれが取り組みはじめたものです。

この宇都宮事件は、私たちに私たちの社会(司法と福祉)の見直しを迫り、改革に挑戦する機会(課題)を与えた“事件”だといえます。是非とも、物心両面でのご支援をお願いしたい。

8/7 集会・実行委員(呼びかけ人)

- 石川 恒 (黒羽町/知的障害者入所施設・かりいほ施設長、そしてKさんの成年後見人)
- 金子 晋也 (宇都宮市/知的障害者入所施設・ひばり副施設長、Kさんの生活支援担当)
- 関口 清美 (宇都宮市/飛山の里福祉会・障害者地域生活コーディネーター、Kさんの生活支援担当)
- 矢野 正広 (宇都宮市/NPOとちぎボランティアネットワーク・事務局長)
- 飯島 恵子 (那須塩原市/NPOゆいの里・代表)
- 後藤 浩二 (東京都新宿区/ホームレス支援、スープの会・代表)
- 登坂 真人 (弁護士、宇都宮事件弁護団メンバー)
- 大石 剛一郎 (弁護士、宇都宮事件弁護団メンバー)
- 副島 洋明 (弁護士、宇都宮事件弁護団代表者)
-
- 相川 裕 (東京/弁護士)
- 浅香 勉 (大田原市/国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科・助教授)
- 阿部 美樹雄(東京都町田市/町田福祉園・ゼネラルマネージャー)
- 五百部 敏行 (下都賀郡大平町/NPOおひさまクラブ・代表理事)
- 内海 成和 (栃木市/ホームレス支援基金・共同責任者)
- 梅永 雄二 (宇都宮市/宇都宮大学教育学部・教授)
- 大野 幹夫 (宇都宮市/とちぎボランティアネットワーク)
- 木村 和子 (小山市/おやまNPO研究会)
- 坂主 晴美 (塩谷郡高根沢町/保護者・NPOわかば・理事)
- 佐藤 幹夫 (千葉県鎌ヶ谷市/フリージャーナリスト・著書「自閉症裁判」洋泉社)
- 塩川 宏郷 (河内郡南河内町/自治医科大学附属病院小児科・医師)
- 篠田 博之 (東京都新宿区/月刊「創」編集長)
- 高木 敏江 (宇都宮市/NPOあいあい会・デイホームあいあい施設長)
- 高橋 昭彦 (宇都宮市/ひばりクリニック・院長)
- 高橋 紘一 (大田原市/国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科・教授)
- 中里 三千雄(真岡市/知的障害者入所施設・真岡ハートヒルズ施設長)

原田 芳子 (宇都宮市／ホームレス支援基金・共同責任者)
平木 チサ子(今市市／今市市議会議員)
福嶋 聡 (真岡市／飛山の里福祉会・生活支援ワーカー)
三浦 敏朗 (那須郡那須町／知的障害者入所施設マメゾン光星・総括主任)
安田 陸男 (千葉県市原市・ジャーナリスト)
八尋 八郎 (福岡県福岡市・弁護士)
山崎 順子 (大田原市／国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科・助教授)
山田 真 (東京都八王子市／八王子中央診療所・小児科医)
渡辺 淳子 (宇都宮市／保護者)

連絡先(事務局)

・8/7・集会 宇都宮事務局・関口清美宛 FAX 028-659-8711
・宇都宮事件弁護団(副島法律事務所) FAX 03-3230-1549
メールアドレス ZVH01723@nifty.com

8/7・宇都宮事件集会 参加申込書

当日、資料集を配布したいと考えておりますが、参加者がどれ程か見込めませんので、参加予定の方には事前の申込みをお願いいたします。

氏 名

所 属

連絡先(できればFAXかメールアドレスを)

また、この8/7集会の実行委員(呼びかけ人)になって下さる賛同者の方を広く求めています。実行委員になって下さる方は、その旨を付記していただくと助かります。

<ご意見>